

南あわじ市 平成 24 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

基本事項

		整理番号	813
事業名	売り出そう！南あわじ物産販売促進業務委託	予算科目	会計 一般会計・1 款 商工費・7款 項 商工費・1項 目 商工振興費・2目
担当部課名	産業振興部 商工観光課		
電話	0799 - 37 - 3012		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職_食_づくり_夢あふれ_働く場を生み出すまちづくり_	
	まちづくりの目標	南あわじブランドの確立【商工業】	
	施策目標	世界に通用する南あわじの顔をつくろう	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託 <input type="checkbox"/> 負担金補助 <input type="checkbox"/>

Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 南あわじ市特産物販路拡大・物産展協議会メンバー (市長、副市長、南あわじ市商工会会長・事務局次長、あわじ島農業協同組合長・販売部長、淡路島酪農農業協同組合長・販売部長、南あわじ市観光協会会長、南あわじ市水交會會長、淡路手延素麺協同組合理事長、上幡多青空市会長、さんちゃん市会長、前拓水産㈱、市長公室長他)		対象人数(人) 23
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 景気低迷、特産品の低価格、後継者不足、高齢化などにより産業の衰退が著しい。平成21年度から売り出そう生み出そうを合言葉に、「南あわじ市特産物販路拡大・物産展協議会」を設置し、全国に誇れる農業、漁業、瓦産業、商工業、観光業などの産業をはじめ、自然景観や体験を含めたすばらしい「ふるさと資源」の広報宣伝、PR販売により地域の活性化と産業振興を図るために各種事業を展開する。		
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 南あわじ市特産物販路拡大・物産展協議会へ委託し、商圏となる阪神間での物産展参加や瓦業界等での新たな販路拡大、また、ネット販売を通じた新たな販路を開拓するためのパソコン講座を開設するなどして、目的達成を図っている。 <平成23年度実績> 南あわじ&西宮とれとれ市(4月23日) 西宮酒ぐらルザス(10月1日~2日) 大阪あきない祭り2011(10月9日~10日) 第33回兵庫県民農林漁業祭(10月22日~23日) 第34回 ふるさと渋谷フェア(11月5日~6日) 神戸マツコ2011(11月20日) インターネット販売講座 毎週水曜日開催(全41回) 受講者:111名 淡路瓦PR 豊岡市、赤穂市、相生市、養父市、篠山市、宍粟市等の行政及びハリスメカを訪問。		
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 平成21年度から3ヵ年事業として始まった当該事業は市が直接執行するよりは、協議会を立ち上げ事業関係者と連携を取り進めていくことが望ましいとの考えから委託に至ったと思われる。		
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (南あわじ市特産物販路拡大・物産展協議会)	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 21 年度 ~ 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から			

Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	指標単位				
	指標説明 (指標算出 方法等)	目標は上記事業目的のとおりであるが、実際の目標を数値かすること、また、可視化することは非常に難しく、成果としてすぐに表れるものでもない。				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	目標値					
	実績値					
	達成度 (%)	-	-	-	-	-
目標値設定 の考え方						
資源配分 (インプット)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	直接事業費 (千円)	12,348	2,169	1,842	2,000	2,000
	売り出そう！南あわじ物産販売促進業務委託料	12,348	2,169	1,842	2,000	2,000
	財源 (千円)					
	国	10,500				
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	1,848	2,169	1,842	2,000	2,000
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.7	26.7
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	1,848	2,169	1,842	2,000	2,000	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	80,347.8	94,304.3	80,087.0	86,956.5	86,956.5	
経費に関する 補足説明	平成21年度は農林振興課が担当課。 平成23年度までは決算額。平成24年度決算見込額。平成25年度当初予算額。					

Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
達成度	目標達成度	%	-	-	-	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 今年度で4年目となる当該事業は、商圏と考える西宮や大阪での物産展等を通じてある程度の繋がりは構築できたと思う。今後はこれまでの繋がりを元に実際の販路紹介や産業従事者自らの手で事業継続に努めていただけるよう進めていけるかどうか課題といえる。						自己評価 (5点評価)
							3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 事業成果としては、上記のとおりつながりを構築できたことが成果であると思う。実際の販路拡大については、すぐに大きな成果はでていないが、インターネット販売講座や瓦のPR訪問を実施したことにより新たな実績ができていることは確かである。						自己評価 (5点評価)
効率性	事業単価	円	80,347.8	94,304.3	80,087.0	86,956.5	86,956.5
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) イベントにおいても出展者に振る舞いから販売へ転じてもらうなど少ない経費で事業実施するための努力は行えている。						自己評価 (5点評価)
							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市の魅力ある資源をPRしていくことは必要であると思う。						自己評価 (5点評価)
							3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 これまで培ってきた繋がりをそのまま終わらせてしまうことだけは避けたい。大阪・西宮は大きなマーケットであり、南あわじ市に対して優遇していただいているので、関係を保ちつつ、産業従事者に上手くバトタッチしていきたい。						<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成25年度にできる改善・改革	平成26年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	南あわじ市の魅力ある資源をPRしていくうえで、今までの繋がりを元に継続的な実施が必要な事業と思われる。	現状を維持しながら、手段・手法については、協議会のメンバーや有識者の意見を聞き、見直していく必要がある。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) これまで培ってきた繋がりを大切に、継続していくことでその成果が表れてくると思われる。行政からの支援を縮小していき、将来的には自主運営に移行していくことが望まれる。	